

2024年 9月26日

リサイクルポリエステルを使用したタテ型不織布が 阪神タイガースファーム新球場の観客席クッション材に採用

帝人フロンティア株式会社のリサイクルポリエステル原料を一部に使用したタテ型不織布が、阪神電気鉄道株式会社が2025年3月に開設する阪神タイガースファーム（2軍）の新球場「日鉄鋼板SGLスタジアム尼崎」において、コクヨ株式会社が設計・生産するバックネット裏前方エリア観客席（約150席）の背中部分のクッション材に採用されました。このタテ型不織布は優れた耐久性・通気性や軽量性などの機能を有することから、高機能クッション材として高い評価を得ており、多くの採用実績があります。

帝人フロンティアと阪神甲子園球場は、球場内で分別回収された使用済みポリエステル製ビール用プラスチックカップからリサイクルポリエステル原料を製造し、その原料を球場内イベントで配布するノベルティや、同球場のラバーフェンスのクッション材の一部原料に使用するなど、環境に配慮した取り組みを2012年から開始しました。このたび採用されたタテ型不織布も、この取り組みにより製造されたリサイクルポリエステル原料を一部に使用しています。



タテ型不織布クッション材が使用される観客席のイメージ



今般採用されたタテ型不織布クッション材

帝人フロンティアは、環境戦略「THINK ECO」を掲げ、環境配慮型の素材や製品を幅広く展開するとともに、環境にやさしい活動や仕組みづくりにも取り組んでいます。今後も環境負荷低減に向けた素材および技術開発や環境保全活動の取り組みを積極的に推進することにより、「地球環境に優しい企業」としてのプレゼンスの向上を目指していきます。

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人フロンティア株式会社 広報・IR部 TEL: (03) 6402-7087